

会津みどり地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

J,A会津みどり管内7町村をエリアとする広域地域は、会津盆地の平坦と山沿いの山間部を含む総面積1,138Km²に及ぶ地域で河沼・大沼両郡の会津坂下町・湯川村・柳津町・三島町・金山町・昭和村・会津美里町の5町2村であり、耕地は標高170m～750mと平坦地から中山間地に亘って分布し、立地条件は極めて変化に富んでいる。農用地面積は12,547haで、福島県総面積の約6%を占める。このうち、耕地面積は10,431haで、米を主体に（管内農業粗生産額の67%）に小麦・ソバ等の土地利用型作物、施設野菜（きゅうり、トマト等）、花き（カスミソウ、トルコギキョウ等）、果実（リンゴ、モモ等）などが生産されている。

農家の高齢化や担い手不足により、地域における多様な担い手の育成確保が不可欠急務となっている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

良食味米の産地として、消費者や実需者からの安全・安心を求めるニーズに対応するため、環境にやさしく需要に応じた売れる米づくりを推奨する。

(2) 非主食用米

ア 備蓄米

需給調整の手法として、政府備蓄米に産地交付金を活用し取り組み確保を図る。

イ 加工用米・米粉用米

需要と結びついた加工用米の安定生産を目指し、地域流通加工用米や複数年（3ヵ年）契約の取り組みを支援するため産地交付金を活用する。

ウ 飼料用米

耕畜連携による飼料確保と、全国流通については需要が見込まれることから、関係団体が連携し需給調整に努め、産地交付金を活用し、多収品種や低コスト生産技術の導入により生産を促進する。

エ WCS用稲

耕畜連携による飼料確保の一役を担い、また、需給調整の手法の一つとして、畜産農家の需要動向を見据えながら、生産拡大を促進する。

(3) 麦・大豆・飼料作物

ア 麦

土地利用型作物として関係機関と連携し、排水対策等による高品質栽培技術を推奨し、担い手への土地利用集積を図るため産地交付金を活用し生産を促進する。

イ 大豆

土地利用型作物として関係機関と連携し、排水対策等による高品質栽培技術を推奨し、担い手への土地利用集積を図るため産地交付金を活用し生産を促進する。

ウ 飼料作物

土地利用型作物として関係機関と連携し、高品質栽培技術を推奨し生産を促進する。

(4) そば・なたね

ア そば

土地利用型の地域振興作物として、地域産業との連携と、排水対策と生産技術向上により、高品質生産を後押しするため産地交付金を活用し生産を促進する。

イ なたね

土地利用型地域振興作物として地域産業との連携と、排水対策等による高品質生産を後押しするため産地交付金を活用し生産を促進する。

(5) その他地域振興作物

その他地域振興作物について、産地交付金を活用し作付誘導を図り、生産拡大により安定供給に対する消費地からの信頼を得られるよう産地形成を目指す。

ア 野菜

安定生産のため施設化を図り、アスパラ、きゅうり、トマト、さやいんげん、ねぎ、にんにく、赤かぼちゃを中心に産地交付金を活用し生産を拡大する。

イ 花卉

高品質の切り花生産のため施設化を図り、宿根カスミソウ、キク、トルコギキョウ、ひまわり、ストック、スターチス、リアトリス、アリストロメリア、オミナエシ、コスモス、アマランサス、ユリ、すげ、ソリダコ、ナデシコ等に重点を置き、産地交付金を活用し生産を拡大する。

ウ 果樹

日本なし、ぶどう、もも、りんごを中心に産地交付金を活用し生産拡大を目指し、環境に配慮した栽培に努める。

エ 山菜

収益性の高い経営を目指すため、山菜加工場への出荷を推進し、わらび、ぜんまい等について産地交付金を活用し生産を拡大する。

オ 雑穀

健康食品として注目されているじゅうねん（えごま）に重点を置き、産地交付金を活用し栽培普及に努め、地域産品となるよう取り組む。

カ 地力増進作物・景観形成作物

不作付・耕作放棄による農地の荒廃を防止するため、地力増進作物、景観形成作物の作付について産地交付金を活用する。

(6) 不作付地の解消

会津みどり地域管内の不作付地合計は257haあり、地域振興作物や飼料用米の作付と中間管理事業等を活用し、3年後の目標は223haで34ha程度の解消を図る。

(平成27年度257ha⇒平成30年度223ha)

なお、会津みどり地域管内は、平坦地域から中山間地域と立地条件も異なっていることから、町村毎に作物ごとの取組方針を明示することとする。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	6669.0	6514.5	6222.9
加工用米	0.0	13.0	25.0
備蓄米	220.0	528.5	561.0
米粉用米	0.3	5.5	10.5
飼料用米	25.0	92.9	175.6
WCS用稲	0.0	38.8	73.0
麦	64.0	46.5	52.0
大豆	35.0	60.4	76.0
飼料作物	2.0	5.5	9.4
そば	315.0	420.9	544.6
なたね	2.0	3.0	9.0
その他地域振興作物	61.0	256.5	287.3
・アスパラガス	10.0	15.0	16.0
・きゅうり	10.0	21.0	22.0
・トマト	7.0	16.0	17.0
・さやいんげん	0.5	1.0	2.0
・ねぎ	1.0	1.0	1.0
・にんにく	0.1	0.1	0.1
・赤かぼちゃ	2.0	3.0	4.0
・えごま	0.1	1.2	1.5
・宿根カスミソウ	0.4	3.0	3.3
・キク	5.0	15.0	15.0
・洋花	10.0	25.0	25.3
・日本なし	0.1	5.0	5.0
・ぶどう	0.1	5.0	5.0
・もも	0.2	8.0	8.0
・りんご	0.9	20.0	20.2
園芸作物助成 対象作物			
・その他野菜	12.0	63.8	71.9
・その他花卉	0.8	1.7	8.3
・その他果樹	0.4	35.9	39.8
・その他山菜	0.1	3.7	3.8
・その他雑穀	0.3	10.4	11.2
・その他作物	0.0	1.7	1.8
地力増進作物・ 景観形成作物助成	5.0	4.8	5.0
・地力増進作物	4.0	3.0	3.0
・景観形成作物	1.0	1.8	2.0

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	平成 28 年度 の支援の有無
1	アスパラ	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	10.0	15.0	有
1	きゅうり	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	10.0	21.0	有
1	トマト	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	7.0	16.0	有
1	さや いんげん	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.5	1.0	有
1	ねぎ	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	1.0	2.0	有
1	にんにく	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.1	0.1	有
1	赤かぼちゃ	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	2.0	4.0	有
1	えごま	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.1	1.2	有
1	宿根 カスミソウ	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.4	3.0	有
1	キク	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	5.0	15.0	有
1	洋花	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	10.0	25.0	有
1	日本なし	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.1	0.2	有
1	ぶどう	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.1	0.2	有
1	もも	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.2	0.3	有
1	りんご	地域振興作物による 産地育成	ア	作付面積	0.9	1.0	有
2	麦	担い手による 生産拡大	イ	実施面積	45	50	有
2	大豆	担い手による 生産拡大	イ	実施面積	20	36	有
2	そば	担い手による 生産拡大	イ	実施面積	185	200	有
2	なたね	担い手による 生産拡大	イ	実施面積	1	2	有
3	飼料用米	生産性向上の取組	イ	実施面積	25	46	有

※「分類」欄については、要綱（別紙 10）の 2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。
（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号をいずれか 1 つ記入して下さい。）

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

5 平成 28 年度特別交付金

作付区分	野菜	花き・花木	果樹	雑穀	その他	合計
平成 28 年度 作付計画面積 (うち特別交付金) (h a)	67.4 (67.0)	40.5 (40.5)	4.1 (4.1)	3.0 (3.0)	1.7 (1.7)	116.7 (116.3)
平成 29 年度 作付計画面積 (うち特別交付金) (h a)	70.0 (69.6)	42.0 (42.0)	4.3 (4.3)	3.3 (3.3)	1.8 (1.8)	121.4 (121.0)
拡大割合 (うち特別交付金) (%)	103.9 (103.9)	103.7 (103.7)	104.9 (104.9)	110.0 (110.0)	105.9 (105.9)	104.0 (104.0)

- ※「平成 28 年度作付計画面積」欄については、平成 28 年度産地交付金（平成 28 年度特別交付金を含む。以下同じ）で支援する高収益作物の面積を記入して下さい。（ ）内には、そのうち、平成 28 年度特別交付金による支援面積を記入して下さい。（いずれも実面積）。
※「平成 29 年度作付目標面積」欄については、平成 28 年度産地交付金で支援する高収益作物の平成 29 年度予定面積を記入して下さい。（ ）内には、そのうち、平成 28 年度特別交付金により支援する取組の平成 29 年度予定面積を記入して下さい。（いずれも実面積）。

平成 28 年度特別交付金により支援する取組の作付目標面積設定の考え方
(拡大の根拠となる情報や地域ごとの内訳等を記載)

- 1 野菜
 - アスパラガス・きゅうり・トマト・いんげんを中心に生産性の向上による収益確保を図りながら、平成 29 年度水田での作付面積を野菜全体として、2.6 h a の拡大を目標に推進する。
- 2 花き・花木
 - 高品質な切り花生産のために施設化を図り、平成 29 年度は宿根カスミソウを中心に水田で 1.5 h a の作付面積拡大を目標に推進する。
- 3 果樹
 - 日本なし・ぶどう・もも・りんごを中心に、安全・安心な果樹生産を目指し、平成 29 年度の水田作付面積 0.2 h a の拡大を目標に推進する。

4 雑穀

○えごまの栽培普及に努める。

平成29年度水田での作付面積を0.3haの拡大を目標に推進する。

5 その他

○加工用青刈り稲については地域の伝統工芸材料としての利用拡大を支援する。

平成29年度水田での作付面積を0.1haの拡大を目標に推進する。

6 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

(別記)

柳津地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、経営耕地総面積（512ha）に占める田の経営面積が約75%で、水稲中心の産地であり、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、備蓄米等の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化や担い手不足により、作付を減少する農家が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稲作付面積の維持が課題となっている。

そのほか、そば、なたねについては、排水不良等により単収の低下を招いており、対策が必要である。

2 作物ごとの取組方針

町内の約454ha（不作付地含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

需要に応じた米生産を基本とする生産数量目標を遵守しつつ、高付加価値化（1等米比率の維持・向上）を図りながら、米の産地として確立する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米

種子や販路の確保などに課題があることから、取組できるよう関係機関に働きかける。

イ 備蓄米

生産数量目標の外数（転作扱い）扱いとして、生産調整を図るうえで有効な手段であるとともに水田をフル活用する。

(3) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、地域振興作物として品質向上を図りながら現行の栽培面積を維持する。

また、排水対策に産地交付金を活用することで収量の安定化を図り担い手の経営安定や規模拡大を支援していくものとする。

(4) 野菜

産地交付金を活用し、当町で生産組合を組織のうえ出荷・販売している主要な園芸品目、「キュウリ」、「トマト」、「アスパラガス」、「インゲン」、「にんにく」を拡大する。

(5) 花き

産地交付金を活用し、当町で生産組合を組織し、出荷、産地形成している「カスミノウ」を振興品目として拡大する。

(6) 不作付地の解消

中山間の条件不利地による作業の非効率、採算性や担い手の高齢化などから、その解消は非常に困難であるが、解消に向けて働きかける。

・ H25 : 96.7ha ⇒ H30 : 90.7ha (6.0ha の解消)

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	304.2	283.9	257.9
飼料用米	0.0	5.0	20.0
米粉用米	0.0	5.0	5.0
WCS 用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	5.0	5.0
備蓄米	7.0	20.0	20.0
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	3.4	3.0	3.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	31.0	25.0	32.0
なたね	1.5	3.0	7.0
その他地域振興作物			
野菜	11.2	14.0	16.5
花き	3.8	3.5	7.0
果樹	2.0	1.7	1.7
その他	7.1	7.1	7.1

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	28 年度の 支援の有無
					()	()	
					()	()	
					()	()	
					()	()	

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください

い。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか1つ記入してください。)

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、()内に、数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※28年度の支援の有無の欄は、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載する。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙 助成対象作物一覧

会津みどり地域農業再生協議会が定める助成対象作物及び助成単価 (単価調整前)

作物Aグループ (特別交付金) 31,000円/10a	
No.	作物名
1	アスパラガス
2	きゅうり
3	トマト(加工用トマト、ミニトマトを含む)
4	さやいんげん(いんげん豆)
5	ねぎ
6	にんにく
7	赤かぼちゃ(金山町のみ)
8	えごま(雑穀)
9	宿根カスミソウ
10	キク
11	トルコギキョウ
12	ひまわり
13	ストック
14	スターチス
15	リアトリス
16	アルストロメリア
17	おみなえし
18	コスモス
19	アマランサス
20	ユリ
21	すげ
22	ソリダコ
23	ナデシコ
24	日本なし
25	ぶどう
26	もも
27	りんご

作物Bグループ (特別交付金) 21,000円/10a							
No.	作物名	No.	作物名	No.	作物名	No.	作物名
1	あさつき	28	たまねぎ	55	うめ	82	クレソン
2	うど	29	たらの芽	56	おうとう(さくらんぼ)	83	グリーンピース
3	うるい	30	ちんげんさい	57	かき	84	モロヘイヤ
4	えだまめ	31	なす	58	キウイフルーツ	85	ツルムラサキ
5	かぶ(赤かぶを含む)	32	なばな	59	くり	86	とうがらし・ししとう
6	かぼちゃ	33	にんじん	60	すもも	87	ブロッコリー
7	菊いも	34	はくさい	61	西洋なし	88	カリフラワー
8	きのこ	35	葉たばこ	62	ブルーベリー	89	にら
9	行者にんにく	36	ハーブ	63	プルーン	90	しょうが
10	ごぼう	37	ばれいしょ	64	小豆	91	芋の茎(芋がら)
11	こまつな	38	葉わさび	65	おたねにんじん	92	はやとうり
12	サツマイモ	39	ピーマン	66	加工用青刈り稲(その他)	93	わさび菜
13	さといも	40	ふき	67	ぎんなん	94	葉大根
14	さやえんどう(えんどう豆)	41	ふきのとう	68	こんにやくいも	95	二十日大根
15	サラダ菜	42	マコモダケ	69	そらまめ	96	エシャロット
16	サンチュ	43	みずな	70	はとむぎ	97	くわい
17	シイタケ	44	みつば	71	ハナマメ	98	くるみ
18	シオデ	45	みやまいらくさ	72	ひまわり(油用)	99	パンジー(鉢物、苗物)
19	しそ	46	みょうが	73	落花生	100	ビオラ(鉢物、苗物)
20	しどけ	47	メロン	74	花木	101	マリゴールト(鉢物、苗物)
21	しゅんぎく	48	ヤーコン	75	ズッキーニ	102	ペコニア(鉢物、苗物)
22	じゅんさい	49	やまのいも	76	キャベツ	103	日日草(鉢物、苗物)
23	すいか	50	レタス	77	オータムポエム	104	サイネリア(鉢物、苗物)
24	スイートコーン(とうもろこし)	51	れんこん	78	ほうれんそう	105	野菜苗
25	せり	52	わらび	79	オクラ	106	あわ(雑穀)
26	ぜんまい	53	あけび	80	ゴーヤ	107	きび(雑穀)
27	だいこん	54	いちじく	81	アスパラ菜	108	ひえ(雑穀)

作物Cグループ (産地交付金) 6,000円/10a	
No.	作物名
1	レンゲ(地力増進作物)
2	クローバー(地力増進作物)
3	イタアンライグラス(地力増進作物)
4	ソルゴー(地力増進作物)
5	ソルガム(地力増進作物)
6	スタックス(地力増進作物)
7	こぶとり草(地力増進作物)
8	デントコーン(地力増進作物)
9	コスモス(景観形成水田)
10	ひまわり(景観形成水田)
11	菜の花(景観形成水田)
12	れんげ(景観形成水田)
13	アヤメ(景観形成水田)
14	芝桜(景観形成水田)
15	

作物Dグループ (産地交付金) 21,000円/10a	
No.	作物名
1	青大豆

109	アヤメ(切り花)
110	高菜
111	夕顔
112	ケナフ
113	
114	
115	

※作物Aグループのトルコギキョウは別名ユーストマ、リアシンサス。